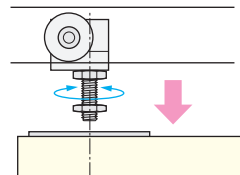


金具の選択について

Q3 HDシステムガイドランナーの吊り車HD-22を2個使い、吊元無しのフリーオープンタイプとして使えますか？

A3 使用できません。
HD-22は吊元固定タイプ専用のガイド部材です。補助的に戸の荷重を受ける吊り車ですので、無理に使用すると、車がスムーズに走行しない、上下調整ボルトが緩んできて戸が傾く、などのトラブルの原因となりますので、絶対に使用しないでください。



Q4 374～391ページのHRシステムで、下部レールはHD-07を使用したいと思っています。下部ガイドとして、HD-71とHD-72を使用することはできますか？

A4 HD-72は吊元固定納まり専用の金具で、吊元仮固定やフリーオープンで使用する、ピボット(HD-71)がスライダー(HD-72)から外れてしまう場合があるため使用できません。383ページの「軸吊ハンガー式」には使用可能です。

Q5 SDシステムのレールSD-1100の中に、異なるシリーズの吊り車HR-220を入れて使用することができますか？

A5 使用できません。
吊り車の車輪の形状とレールの断面形状には密接な関係があり、一番良好な走行状態になるように組み合わせて設計されています。
アトム折戸システム金具にはいろいろな種類があり、異なるシステム間のレールと吊り車が、たまたま合うこともありますが、安易にカタログ記載以外の組み合わせで使用されますと、走行不良や故障の原因となります。

Q6 HRシステム引込み折戸(省スペースタイプ)をトイレに使おうと考えていますが、取手は一般的なレバーハンドルの表示錠でも使用可能ですか。

A6 はい、使えます。
引込み折戸の場合は、通常の折戸と違い一般的なレバーハンドル錠の方が適してます。トイレでご使用されるのであれば、レバーハンドルの表示錠が最適です。

